

その他、日常的な活動

30名のスタッフが在籍

電球交換等、日常生活のお困りごとの生活支援サービス（何でも110番）。リサイクル活動から始まった家庭の不用品引取りからさらに、小規模の引越、家の片付けや遺品整理・処分などもおこなっています。

また従来からの、自治会や団地の管理組合からの依頼を受けて樹木の剪定、草刈り、夏場の植栽への水やりも定期的に行っています。ほか復興住宅でのふれあい喫茶、デイサービス、リサイクルバザー等の独自のイベント活動の他、地域のまつりなどへの協力もおこなっています。

多岐にわたる私たちの活動範囲。どんなことでも、まずご相談ください。



◎12月28日 事務所のもちつき大会を実施しました

今年の役員をご紹介します

- ◎理事長 在里 俊一
- ◎副理事長 江川 豊
- ◎理事（事務局長） 藤井 義隆 *
- ◎理事 吉岡 良成
- ◎理事 本岡 美智子
- ◎理事 迫田 志津子
- ◎理事 森本 秀雄
- ◎理事 畑瀬 忠雄
- ◎理事 辰巳 明久 *
- ◎理事 横山 和代 *
- ◎監事 武貞 健治

（*印は新任です。再任役員ともどもよろしくお願い致します。）

スタッフ募集中

できるときに、できることを、できる人が

これまでご紹介したように、私たちの活動は今年も、質・量ともに大きく広がっていきます。

- 何でも110番・・・日常の困りごと、家具の移動、庭木の剪定、簡単な電気工事など、よろず引き受け。
- 地域支援事業・・・買物や病院への移送サービスの他、ケータイ塾の開催、地域イベント（盆踊り・餅つき）等、地域コミュニティづくりのサポート。
- 環境ネットワーク事業・・・地球温暖化防止活動の一環として太陽光発電の普及啓発と家庭用・業務用の天ぷら油の廃油を回収し BDF（バイオディーゼル燃料）にリサイクル。

特にさまざまな経験や専門的知識、得意分野をお持ちの方、さらに常勤スタッフとして活動に参加できる方を広く求めています。

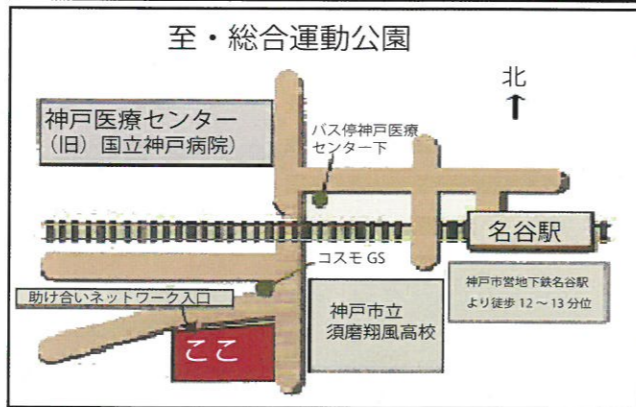
条件、待遇などについては、お気軽にお問い合わせください。

また、神戸西助け合いネットワークの事をもっと詳しく知りたい方はホームページを開設しておりますので、そちらの方をご覧ください。「神戸西助け合いネットワーク」で検索して下さい。

特定非営利法人（NPO 法人）
神戸西助け合いネットワーク
理事長 在里 俊一

〒654-0155 神戸市須磨区西落合2丁目1-6
TEL078-795-3786 FAX078-795-4498

〒654-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6
コムスタ神戸2F リサイクル工房あずま内
TEL/FAX 078-795-3786



■私たちの活動にご協力ください

ゆうちょ銀行 振替口座 00960-7-108420
名義：神戸西助け合いネットワーク

【賛助金年会費】

個人会員 一口 3,000円
団体会員 一口 10,000円
（賛助金は1口以上、何口でもお受け致します）

NPO 法人 神戸西助け合いネットワーク

私たちの活動ニュース

平成24年度活動報告
第11号
平成25年1月1日
発行人：在里俊一
特定非営利法人
神戸西助け合いネットワーク

平成25年 新年のごあいさつ

特定非営利活動法人 神戸西助け合いネットワーク 理事長 在里 俊一

新年を迎え、ご支援を頂いている

みなさまにご挨拶を申し上げます



私たち「神戸西助け合いネットワーク」の活動拠点は須磨ニュータウンにあります。この地域が開発されてから30数年になりました。そのため地域全体が急激な高齢化を向かえさまざまな課題を抱えています。地域の方の多くが若い時にはこの位のことは簡単に出来たのにと嘆きながら、家具の移動や部屋の片付け、物の処分、ゴミ捨てやゴミ置場の掃除、草取り、剪定、水遣りなどさまざまな事の手伝いや相談が寄せられています。そして、その数は最近ますます増えてきました。そして、いま日本は残念ながら無縁社会とも言われ地域の人々の絆や支えあう力は薄らぎ、多くを期待することはできません。

私たちは、18年前の阪神・淡路大震災の被災者支援を目指して設立しました。その後は、地域の高齢者や障害者の支援を中心に取組み、みんなで助け合い、支えあうことで誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動してまいりました。

いま、そのような活動が、ますます強く求められる状況になっているにもかかわらず、私たちの組織はあまりにも脆弱であることに気づきました。組織力の向上としての財政基盤の改善や人材確保などの体制づくりに取り組むことが急務となりました。

その改善策の第一弾として、一昨年4月に介護事業所として「介護ステーションたすけあい」

立上げ、訪問介護・居宅介護・移動支援をスタートさせました。本年はこれらの業務の充実を図りつつ福祉用具の販売や貸与など事業の発展に努力して行きたいと考えています。

次に環境問題への取り組みです。平成18年より取組んできました太陽光発電の設備がNEDOとの共同研究期間5年を終えて、私たち固有の設備になりました。環境ネットの組織で連合関係者の皆様には資金等の多大なるご支援を頂き誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。今後も引き続きクリーンエネルギーである太陽光発電の普及啓蒙に取り組んでまいります。なお、私たちは設立当初から家具、日用品、家電、自転車などのリサイクル活動に取り組んできましたが、加えて平成19年から使用済みの天ぷら油を回収して、バイオディーゼル燃料製造業者に提供してきましたが、私たち自身でバイオディーゼル燃料づくりに取組むために、回収量の拡大などの採算基準を早くクリアして行きたいと考えています。

なお、NPOとしてできる環境に優しい活動、特に地球の温暖化防止と原発の依存度を下げられるためにもクリーンエネルギーには今後も積極的に取り組んで行かなければなりません。

さらに、一昨年に引き続き、東日本大震災の被災者支援で兵庫県に避難してこられた被災者支援の活動を行ってまいりました。本年は更に現地の支援について取り組んで行きたいと思っております。本年も、私たちの活動に温かいご支援とご指導を心からお願い申し上げます。

平成 24 年 私たちの主な活動

東日本大震災で避難してきた子どもたちへ 図書カードプレゼント 保護者との座談会も

5月27日(日)午後、須磨パティオ健康館会議室において、被災地から避難してきた小学生の子ども達138名に図書カードをプレゼントしました。

これは民主党兵庫県連に寄せられたカンパを元に企画されたもので、県連の藤井訓博幹事長から図書カードが贈られました。続いて保護者や兵庫県議会の大塚崇弘さんを交えて、避難生活の生の声を伺いました。



子ども達はすっかり学校生活には慣れたものの、保護者からは、この春に入居期限を迎える市営住宅を出て、また新たな住まいへの転居など、避難生活に伴うさまざまな悩みなどが語られました。

終了後、「助け合いネットワーク」からのおみやげ、カブトムシの幼虫が手渡されました。ところが同行の幼児の分が足りず、泣き出した子に、在里理事長があわてて後日届けることを約束するなど、ほほえましい一コマもありました。

なお図書カードは、当日出席できなかった子ども達へは郵送でお届けしました。



神戸新聞 平成24年5月28日朝刊

継続事業化に向けて ケータイ・インターネット塾 神の谷地域福祉センターで実施

一昨年から試験的に実施してきた「ケータイ・インターネット塾」を定期的に行おうという取り組みです。

高齢者を対象にIT情報格差を少しでも減らそうというもので、10月25日(木)午後、神の谷福祉センターで開催しました。

今回からは須磨区地域提案型活動として認められました。情報格差の解消という基本テーマだけでなく特に、公共施設や団地の集会室などを活用し、狭いエリアで実施することにより、徒歩でも参加できるという点が大きく評価されました。

今回は、地域の平均72歳の方々18人が参加し、携帯電話のショートメッセージサービス(SMS)を中心に2時間にわたって開催しました。



SMSはメールアドレスでなく、携帯電話番号だけでメールのやりとりができるもので、平成23年7月からすべての電話会社間で通信が可能になりました。写真を送ったり装飾メールはできず文字だけですが、手軽さからメール初心者にとってのツールです。

今回もSMSに「こんな方法があったのか！」と驚きと喜びの声があがりました。

次回は今年1月末に予定していますが、これからの課題として、レベルがまちまちの受講者に、どう細やかに対応するかが第一に挙げられます。

平成 25 年 新たな展望

介護関連事業 本格始動 介護ステーションたすけあい

平成23年4月にスタートした、介護保険法に基づく介護サービス。まず高齢者介護から始めたものですが、昨年は障害者自立支援法による移動支援、さらに10月からは行動援護も始めました。

移動支援と行動援護

「移動支援」は屋外での移動が難しい視覚、四肢、知的、精神のいずれかの障害を持つ人たちの外出の手助けをするものです。外出の目的は日常生活上欠かせない不定期の通院や銀行、子どもの授業参観出席などだけでなく、余暇活動、冠婚葬祭など社会生活上必要な外出にも支援を行うものです。

これに対して「行動援護」は知的障害や精神障害など行動そのものに障害のある人たちへの支援であり、いずれも認定を受けた方々向けのサービスです。

福祉用具のレンタル、そして販売へ

一方8月からは、福祉用具のレンタル業務も開始しました。車いすや電動ベッド、歩行器から入浴・排泄関連用品などその範囲が極めて多岐にわたります。

また、長期間のレンタル利用者は、レンタルよりも購入の方が合理的であるとの考えから、販売も出来る様に手続を行っております。

これにより利用者の状態に合わせてレンタル・販売それぞれのサービスを的確に提供することができるようになりました。



色々な仕事への挑戦

神戸西助け合いネットワークでは地域の皆さんがお困りのことをお引き受けして対応している「何でも110番」という部門があります。

家の中の電球の交換、障子・襖の張替え、掃除、大型家具の室内の移動、引越してから庭の草刈・剪定など、家の事なら何でも対応しております。また、団地では剪定・草刈・水やり等を行っております。

最近、引き受けた中で何点かご紹介いたします。まず、籐の椅子の修理の依頼がありました。非常に綺麗な椅子ですが背もたれの籐の部分が破れてきているのです。籐の部分を張り替えると言うことなのですが、籐の材料はどのように手配するかか張り替える方法はどのようにするかか思考錯誤しながらですが、綺麗に完成しました。



次に、ある自治会よりゴミステーションの改良の依頼がありました。横幅が約5m、奥行きが1.5mあり、改良前は緑色の網を竹さおに掛けて行っていたのですが、カラスが網の上からゴミをつつくため、改良して欲しいというものです。自治会の役員方と協力しながら、網は黄色に変え、網を掛けたり支えたりする部分を軽くするために、アルミニウム製のパーにして完成しました。カラスが来なくなり好評を頂いております。

